

- 重度障害児者の在宅レスパイト事業を充実**
- 医療的ケアが必要な重度障害児者の在宅レスパイト事業では、利用上限時間を4月に年144時間から288時間に拡充しました。来月からは、大泉町2丁目の放課後等デイサービスを活用して、新たに居宅外での預かりを開始します。
- こどもの体験格差を解消するための学習クーポン事業を開始**

平成29年度に、ひとり親家庭自立応援プロジェクトに着手し、転宅費用の助成や訪問型学習支援など、23区で最多の取組を実施しています。来月から、学習の機会を確保するため、主要5科目の学習塾などに利用できる、クーポン方式の助成事業を開始します。

- ひとり親家庭等を支援する「いきいきコスメプロジェクトねりま」を開始**
- 新製品の開発等に伴い、使用できる化粧品等の相当量が廃棄されています。この問題に取り組んでいる民間団体と都内で初めて連携協定を締結し、「いきいきコスメプロジェクトねりま」を開始しました。ひとり親家庭や生活困窮、DV・児童虐待により居場所がないなど困難な問題を抱える女性等に、化粧品等を詰め合わせたコスメセット2,000個の無償配布を行っています。

ひとり親家庭等がいきいきとした生活を送れるよう支援するとともに、これを契機に相談支援に繋げ、就労等の社会参加や自立を促進していきます。

- 新型コロナ、インフルエンザのワクチン接種開始**
- 来月から、新型コロナウイルス、小児インフルエンザの予防接種事業を開始します。

新型コロナウイルスワクチンは、65歳以上の高齢者などを対象に定期接種を行います。国の助成が廃止されましたが、昨年度同様の自己負担額となるよう、費用を助成します。

小児インフルエンザワクチンは、任意接種で全額自己負担となっていますが、子育て世帯の負担を軽減するため、生後6カ月から12歳までの方を対象に、昨年度同様に費用の助成を行います。今年度から、点鼻ワクチンも助成対象とします。

防災、まちづくり施策

- 感震ブレーカーの購入費補助を区内全域の木造住宅で開始**
- 地域の初期消火力、出火防止対策の強化に取り組んでいます。

密集事業実施地区と防災まちづくり推進地区で、昨年度、消火用スタンドパイプを区立施設やコンビニなど12カ所に設置しましたが、年内に更に5カ所増設します。

また、両地区の木造住宅、区内全域の避難行動要支援者の住まいに対し、感震ブレーカーの無償貸与、取付け支援を実施しています。昨年度は当初予定数の約2倍1,117件の設置が完了し、今年度も既に目標を上回る申請を受け付けています。来月から、都の補助事業を活用し、新たに購入費補助を区内全域の木造住宅を対象に開始する予定です。

- 大江戸線延伸の促進**
- 大江戸線の延伸については、都からの報告を受け、財政負担のあり方や協力する鉄道施設整備の内容について、都と具体的な協議を進めています。事業化に際しては、延伸後のまちの姿を明確に



大江戸線延伸推進基金を更に15億円積み増します

示すことが求められています。これまで取り組んできた延伸地域のまちづくりに、駅前空間の整備内容を加えた新たな計画を策定します。

〔(仮称)大泉町駅〕予定地周辺では、8月にまちづくり協議会を設立し、駅周辺の将来像を検討しています。大泉学園町8丁目付近で整備が進められている補助233号線の沿道地区では、今月、地区計画原案説明会を開催し、年度内の都市計画決定に向けて手続きを進めます。

- 西武新宿線連続立体交差化と沿線のまちづくり**
- 西武新宿線の連続立体交差事業は、関係自治体等との連携のもと、着実に進捗しており、現在、用地取得に向けた個別物件の調査を実施しています。連続立体交差事業にあわせて、駅周辺のまちづくりを推進しており、上石神井北西地区で昨年9月に設立された再開発準備組合が、事業区域の設定や建築計画の検討を行っています。区は引き続き、組合の活動を支援していきます。武蔵関駅周辺の地区計画については、先月、素案説明会を開催しました。来年度早期の都市計画決定を目指します。上井草駅周辺では、引き続き地域の方々と地区計画の検討を行います。

鉄道と交差する都市計画道路は、外環の2や補助230号線の用地取得を進めています。新たに補助135号線で年内の事業認可取得を予定しています。

全国都市農業フェスティバル2025の開催

11月15・16日の全国都市農業フェスティバル2025まで、2カ月半となりました。前回は上回る32自治体に参加し、都市農業の魅力と可能性を、全国に発信していきます。「買う」「食べる」「体験する」「話す・学ぶ」をテーマに、都市農業の魅力を存分に感じられる様々なイベントなどを行います。

マルシェでは、参加自治体特産の農産物や加工品などを販売するブースと、キッチンカーが出店します。更に、京野菜の収穫や花の寄せ植えなどの体験ブースを設けます。光が丘体育館では、区や参加自治体の農業者によるトークライブを行い、来月から入場者の募集を開始します。

また、参加自治体の農業者・JA職員・行政担当者が、都市農業の知見や経験等について、意見交換を行います。

開催直前には、商店会の店舗や区内全駅等でのポスター掲出、大江戸線練馬駅・光が丘駅でのホームドアステッカーの掲出、池袋駅構内や西武線と大江戸線の車内、区役所と光が丘IMAでのPR動画の放映などを行い、機運を醸成します。

参加自治体や区内農業者、JA東京あおばと連携し、区民の皆様、区議会の皆様のご協力を頂きながら、フェスティバルの成功に向けて全力で取り組んでいきます。



昨年の全国都市農業フェスティバル2025プレイベントの様子

文化・スポーツ施策

- 美術館・貫井図書館の再整備**
- 美術館・貫井図書館の再整備については、コンストラクションマネジメントを実施しています。その一環として行った建設業界へのヒアリング調査等では、施工が容易で、かつ利益率が高い事務所やマンションなどを優先的に受注する傾向がこれまで以上に強まっていることが示されました。区が予定し

ている工期では、事業者確保の見通しが立たず、本体工事契約の不調リスクが極めて高いとされています。これを受け、来年度の着工は見送ることとしました(4面に関連記事を掲載)。

区民の皆様とともに作り上げてきた美術館・貫井図書館の再整備計画は、区民生活をより豊かにする上で欠かせないものであり、その方針に変更はありません。実現に向け、引き続き建設市場の動向を注視しながら、適切に判断していきます。

なお、関連する経費は、現在編成を進めている補正予算案として提案する予定です。

- ねりま秋のスポーツフェスの開催**
- 10月から11月にかけて、「ねりま秋のスポーツフェス」を開催します。各地域の体育館やプールで、様々なスポーツが体験できる「スポーツの日記念行事」、練馬まつりと同日に練馬総合運動場公園で開催する「ねりまスポーツひろば」、障害のある方もない方も一緒にスポーツを楽しめる「ねりすぽフェスティバル」で構成します。

11月15日から東京2025デフリンピックが開催されます。機運を醸成するため、「ねりまスポーツひろば」及び「ねりすぽフェスティバル」において、練馬区ゆかりの選手によるトークショーやデフスポーツの体験会などを実施します。

昨年のパリオリンピック・パラリンピックに続き、練馬区ゆかりの選手の活躍を心から期待しています。

おわりに

- 区政を取り巻く政治経済情勢**
- 関税措置に関する日米協議は合意に至りましたが、輸出関連を中心に経済へのマイナスの影響は避けられません。ウクライナ・中東情勢も未だ先を見通すことができません。私たちは今、先行きが不透明で、不確実な状況に置かれているのです。7月の参議院議員選挙の結果、政権は、衆参両院で過半数を得ることができず少数与党となりました。今後、国政がどのような方向に進んでいくのか、未だ予断を許さない局面が続いています。

- 区政運営への決意**
- 日本は嘗てない国家的危機の最中にあります。必要な事は、少子化が続くなかで、経済と国家財政を立て直し、国際社会の競争に打ち勝つ成長戦略を確立すること、社会保障制度を持続可能なものとして、希望の持てる将来像を示すことです。いずれも、中長期的な視点で取り組むべき構造的な課題です。しかし昨今、財源無しの消費税減税や給付金の支給など、目先のバラマキ論が横行し、排外主義に繋がりがかねない主張まで見られます。ポピュリズムそのものであり、日本の行く末に強い危惧の念を抱いています。行政は目先の人気取りであってはならない。バラマキに走ってはならない。後世の歴史の審判に堪えられる政策をこそ実現しなくてはならない。これを信条として、生涯をかけて、住民全体の奉仕者、公務員であることを誇りに仕事をしてきました。区長に就任して11年、この間、多くの行政分野で、全国自治体を先導する多数の政策、「練馬区モデル」を実現してきました。

区独自の幼保一元化施設「練馬こども園」の創設、新型コロナワクチン接種の練馬区モデル、東京都練馬児童相談所の設置をはじめ、ねりま羽ばたく若者応援プロジェクト、医療的ケアにも対応した重度障害者の地域生活支援拠点の整備、困難な問題を抱える女性への支援の強化にも取り組んでいます。練馬区の福祉医療サービスは飛躍的に充実しました。

区長に就任して11年、この間、多くの行政分野で、全国自治体を先導する多数の政策、「練馬区モデル」を実現してきました。

区独自の幼保一元化施設「練馬こども園」の創設、新型コロナワクチン接種の練馬区モデル、東京都練馬児童相談所の設置をはじめ、ねりま羽ばたく若者応援プロジェクト、医療的ケアにも対応した重度障害者の地域生活支援拠点の整備、困難な問題を抱える女性への支援の強化にも取り組んでいます。練馬区の福祉医療サービスは飛躍的に充実しました。

今後は、実現に向けて大きく前進した大江戸線の延伸を基軸として、福祉医療サービスを更に充実し、文化・スポーツ・みどりなど、区民生活をより豊かにする施策を組み合わせ、一体で取り組んでいく。「改革ねりま第Ⅲ章」の実現に向けた私の決意です。

区議会の皆様、区民の皆様のご理解、ご協力をお願いします。